

留学先大学： ヴェネツィア大学  
 留学先での所属学部・研究科： language  
 留学先での在籍身分： exchange student  
 留学期間： 2014 年 9 月～ 2015 年 6 月  
 神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部  
 学年（出発時）： 3年  
 本報告書記入日： 2014 年 11 月 29 日

## 出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

以前留学されていた先輩や交換留学生からお話を伺ったり、ヴェネツィア大学のホームページで情報を集めました。

## 住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- 住居（寮，アパート）の名前：サン・トマ
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：アルメニア・クリミア） その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・大学までの通学時間・手段：15~20分，徒歩
- ・住居の周りの環境はどうか。：

近くに郵便局やスーパーもあり大変便利な立地です。  
 大学やバス停、駅まで徒歩10分～20分程度で行けます。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

昼はサンドイッチを作ってもっていくか、ピザ(約2ユーロ)を買って食べます。  
 夜は食堂(4.5～5.5ユーロ)で食べます。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

大学の斡旋で渡航前に見つかりました。  
 ルームメイトは今まで2回変わりましたが、とくにトラブルなどはありません。

## 大学の授業について

### 1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

## 2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Theories of Language Education	Carmel Mary Coonan	90分	6	80名程 度	テストはなく、最終レポートで評価されます。教授は黒板や パワポを使わないのでついていくのが大変です。ボイスレ コーダーを使って復習しています。
2	Japanese Language	Heinrich Patrick	90分	12	20名程 度	日本のさまざまな問題について文献を読んだりビデオ を見ます。授業の最後にディベートをします。
3	Italian for foreigners	Michele Daloiso	150分 ×2	6	20名程 度	オーラルとチュートリアルに分かれています。
4	CLA (Centro Linguistico di Ateneo)	Elena Ballarin	150分 ×2		20名程 度	Centro Linguistico di Ateneo 語学学校のイタリア語コースです。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

## 3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

--

## 一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00				日本語自 由会話		勉強、 買い物、 旅行など	
11:00		授業1					
12:00			CLA	授業2			
13:00	CLA	イタリア 語の					
14:00		チュート リアル	授業3		聴講		
15:00							
16:00							
17:00		授業3					
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

## 現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

ヴェネツィアでの留学生活も三か月目を迎えようとしている。日本では留学生を迎える側であった自分が実際に留学する立場になり、気づいたことや留学の楽しさ、そして辛さを経験することが出来大変充実するものとなっている。

ヴェネツィア大学は留学生が多く大変国際色豊かな大学である。また留学生のためのサポートも充実している。イタリアに留学する人にとって最初の難関だといわれている滞在許可書の申請も、大学のInternational Officeのサポートによってスムーズに手続きをすることが出来た。またヴェネツィア大学にはイタリアでも最大規模の日本語学科があり、日本語を勉強している学生が多いため、友達を作るのもそれほど困難ではない。彼らは大変熱心で、日本人である私自身よりも日本について詳しいこともあり、驚いている。

日本で約1年間勉強したイタリア語は、ここに来てから日本で勉強していたときとは比べものにならないくらいのスピードで上達していると感じる。日本にいるときは文法に重点をおいて勉強していたが、こちらでリスニング、スピーキングが圧倒的に伸びたと思う。イタリア語の語学の授業において、先生は文法の説明はサラッと終わらせ、主に宿題で勉強、そして授業中は各自家で学習したことを生かした練習問題や応用問題をクラス全員ですることに重点をおいている。授業のスタイルが日本にいるときと全く異なっているため、最初は慣れるのに大変だったが、今ではこちらの学習スタイルに慣れた。また普段の生活でも学べることは多いため、生活の全てが自分の語学力の向上につながっていると感じる。また、自分の語学力が上達すればするほど、イタリア人の友達との会話の質が上がる。日常的な会話だけでなく、もっと深い話が出来るようになることが今自分の一番のモチベーションにつながっている。

寮にはキッチンがないため、食事はほぼ食堂ですませる。一食約650円～800円と、日本の学生食堂と比べると決して安くはないが、食堂で現地のイタリア人学生と話しながら楽しく食事をする事が出来、お金には変えられない有意義な時間を過ごしていると思う。留学中は、出来る限り人と話す機会を積極的に自分で作るようにしている。しかし留学がはじまってから一か月間は、宿題も多く、さらにさまざまなイベントやパーティが催され、無理をして全てをこなそうとし体調を崩してしまうことがあったため、焦らずに自分のペースで過ごすことも大切であると感じた。またその時に、ルームメイトのイタリア人が看病してくれたため大変助かった。渡航前、寮を一人部屋にするかルームシェアにするか迷ったが、今ではルームシェアを選んでよかったと思っている。もちろん生活習慣が合わないため大変なこともあるが(例えば起床時間や寝る時間が違う、部屋で音楽をかけたりskypeしづらいなど)、お互いのことを考え、また助け合いながら共に生活することは、日本では一般的である一人暮らしとは違い、留学中の今しか出来ない経験である。